

中部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年5月 中部農林振興局

（中部農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P2~3)
 - 1 農業改良普及事業推進協議会 幹事会を開催
 - 2 就農に向けた支援
 - 3 令和8年度柏原地区集落営農「つなぐ」総会が開催
 - 4 5月期子牛せり市が開催
 - 5 宮崎中央家畜市場子牛品評会が開催
 - 6 「さつまいもの苗植え体験」へ向けた支援
 - 7 中部地区営農振興協議会野菜部会総会を開催
 - 8 JAみやざき宮崎中央地区本部国富支店胡瓜青年部研修会が開催
 - 9 JAみやざき宮崎中央地区本部ハウス金柑部会定期総会が開催
 - 10 JAみやざき宮崎中央地区本部宮崎日向夏研究会定期総会が開催
 - 11 国富町花き振興研究会総会が開催

- II 主な普及指導活動等の取組み
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P4~6)
 - 1 JAみやざき宮崎中央地区本部高岡胡瓜研究会定例会が開催
 - 2 JAみやざき宮崎中央地区本部田野支店胡瓜部会女性部病害虫講習会が開催
 - 3 高岡トップレベル研修会が開催
 - 4 JAみやざき宮崎中央地区本部国富支店ピーマン部会定例会が開催
 - 5 有田・柏原地区基盤整備事業推進委員会の開催
 - 6 跡江下小松地区の水田ゴボウ実証ほの収穫作業を実施
 - 7 新木地区準備委員会の開催
 - 8 本郷南方地区基盤整備事業準備委員会の開催
 - 9 新名爪地区で土地利用調整事業に係る打ち合わせを実施
 - 10 綾オーガニックスクール企画運営委員会定例会の開催
 - 11 ばれいしょ栽培基礎講習会
 - 12 かんしょ栽培基礎講習会
 - 13 新規設置碾茶工場の稼働及び支援

 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P7)
 - 1 JAうまいこめづくり研究部会講習会の開催
 - 2 飼料用稲採種生産組合への講習会の開催
 - 3 宮崎市SAP会議役員会開催

I 管内農業・農村の主な動き

1 農業改良普及事業推進協議会 幹事会を開催

22日、普及センターにて開催しました。

総会付議事項の協議を行うとともに、普及指導活動計画のきゅうりに関する資料「今後推進すべき技術・施設等に関する考え方」や地域課題を説明し、御意見をいただきました。

普及事業を計画的に進めるため、関係機関と協議しながら、有意義な活動にしていきます。



【所長あいさつ】

2 就農に向けた支援

5月は、就農相談を1名、計画検討会を1名（施設野菜1名）に対して実施し、各段階において経営を意識するよう働きかけています。

3 令和8年度柏原地区集落営農「つなぐ」総会が開催

27日、柏原集落研修センターで開催されました。

令和7年度活動実績及び収支決算、令和8年度事業計画及び収支予算、及び役員の変更について協議し、すべて可決されました。

柏原地区集落営農「つなぐ」では、農地の維持発展を目的に、WCSの作業受託及び水田裏作の生産販売に取り組み、基盤整備事業を活用した大区画化及び農地の集約化へ向けた協議を進めております。

今後も、目的を達成できるよう集落営農への支援をしていきます。



【「つなぐ」総会】

4 5月期子牛せり市が開催

9日と10日の2日間、宮崎中央家畜市場で開催され、合計656頭（雌：258頭、去勢：398頭）の出場がありました。

せり前講習会では、JA畜産部長から概況等の説明、続いて普及センターから「暑熱対策は5月から」と題して講習を行いました。合わせて、農作業安全や熱中症対策を啓発しました。

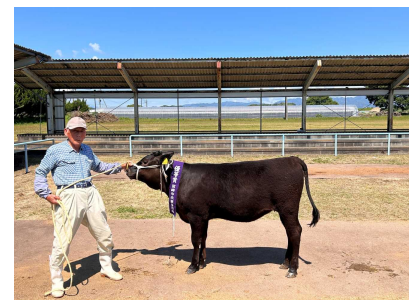
子牛平均価格（税込）は、雌806千円（前回比15千円安）、去勢895千円（前回比17千円安）、総平均852千円（前回比24千円安）という結果になりました。

5 宮崎中央家畜市場子牛品評会が開催

13日、JAみやざき宮崎中央地区本部と綾町地区本部との合同開催による5月期子牛せり市に向けた4月期子牛品評会が家畜市場で開催されました。

審査の結果、高岡支店の福永悟氏の「ほのか」号（白隆鵬産子）が優等1席を受賞しました。審査委員長の講評では体積の豊かさ幅、張り、のび、釣り合い、後躯の広さ、毛の生え込みを美点として評価されていました。

また今期は久しぶりに去勢の部が開催され、宮崎支店の外山信介氏の「信464」号（白隆鵬産子）が優等1席を受賞しました。



【優等1席「ほのか」号】

6 「さつまいもの苗植え体験」へ向けた支援

28日、清武町にて講習会を開催しました。「清武地域まちづくり協議会」による30日開催の児童向け苗植え体験へ先立ち、協議会のスタッフに講習会を開催しました。

栽培管理方法や基腐病等の病害虫対策について説明を行い、参加者からは「初めての栽培だが、栽培管理や排水・防除等の具体的な対策を学べたため、今後の活動に活かしたい」といった声が寄せられました。

今後も、順調に生育していくよう支援していきます。



【かんしょ講習会】

7 中部地区営農振興協議会野菜部会総会を開催

14日、普及センター研修室において、関係機関37名が参加し総会を開催しました。

Dプロ推進やMYSV対策等、令和7年度に取り組んだ活動や予算の執行内容について協議するとともに、令和8年度の活動方針や展示ほ計画、役員改選等について協議し、いずれも承認されました。

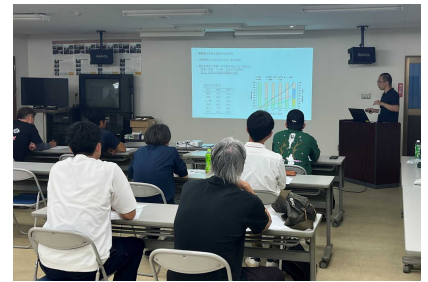
今年度も、関係機関と連携し各品目の課題解決を行ってまいります。

8 JAみやざき宮崎中央地区本部国富支店胡瓜青年部研修会が開催

26日、国富町において、生産者20名、関係機関4名が参加し開催されました。

普及センターから次作に向けた土壌消毒について説明した後、総合農業試験場の吉留専技から土壌の物理性・化学性や土壌診断書の見方等について説明がありました。

多くの若手の参加があり、これからの土づくりについて知識を深めました。活発な質問や意見がだされ、土づくりの取組改善による収量増加や品質向上が期待されます。



【研修】

9 JAみやざき宮崎中央地区本部ハウス金柑部会定期総会が開催

11日、高岡町において、生産者37名、関係機関14名が参加し、開催されました。

会長や来賓祝辞の後、各議案について検討が行われ、滞りなく原案のとおり承認されました。

普及センターからは、昨年度実施したきんかん収穫ワークショップの実績報告と今年度から農業バイトアプリ「デイワーク」を活用した活動を実施していくことを説明しました。

引き続き、関係機関と連携しながら、安定生産と担い手確保に向けて支援していきます。

10 JAみやざき宮崎中央地区本部宮崎日向夏研究会定期総会が開催

18日、宮崎市生目において、生産者15名、関係機関8名が参加し、開催されました。JAの担当者から令和7年度の生産販売実績の報告があり、台風等の災害の影響が少なく、青果、加工用ともに出荷数量と販売金額が増加となりました。

総会後には懇親会が開催され、関係機関や生産者の間で意見が交わされ有意義な会となりました。

11 国富町花き振興研究会総会が開催

18日、国富町役場で開催され、生産者16名、関係機関9名が参加しました。

会長や来賓祝辞の後、各議案について協議内容について検討が行われ、滞りなく原案のとおり承認されました。総会後には懇親会が開催され、関係機関や生産者の間で意見が交わされ有意義な会となりました。

II 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに基づく普及活動

【重1・日本一のきゅうり産地維持のための生産性と収益性の両立】

1 JAみやざき宮崎中央地区本部高岡胡瓜研究会定例会が開催

25日、JA宮崎中央高岡支店会議室において、生産者8名、関係機関2名が参加し、開催されました。

会長挨拶後に、JAから作終盤の管理について説明がありました。その後、普及センターから健全な生育へ向けた土作りと排水対策について説明をしました。生産者、関係機関で活発な意見交換が行われました。

今後ともきゅうりの産地維持へ向け支援していきます。

2 JAみやざき宮崎中央地区本部田野支店胡瓜部会女性部病害虫講習会が開催

15日、田野町内きゅうりほ場及びJAみやざき田野支店会議室において、総合農業試験場の黒木副部長を講師として、生産者14名、関係機関6名が参加し、開催されました。現地では、実際に試薬や農薬を用いて混用方法及びノズルのタイプ別の散布実演が行われ、室内ではこれからの管理と次作の準備について研修が行われました。引き続き会の活動を支援し、生産性向上を支援していきます。



【講習会】

3 高岡トップレベル研修会が開催

29日、高岡営農センターにおいて新規就農された方を対象に開催されました。

「土壌診断書の見方」と「経営の振り返りと分析」について普及センターから講義を行いました。

「土壌診断書の見方」では、直近の土壌診断書を用いて、各項目の数値の読み解き方や次作に向けた土づくりのポイントについて解説しました。「経営の振り返りと分析」では、「経営状況の分析方法」と日々の作業環境を見直しにつながる内容として「作業効率の改善や作業場の整理整頓」を含め話しました。

今後は、8月にも経営の講義を予定しており、レベルアップへ向けた支援をしていきます。



【高岡トップレベル研修】

【重2・スマート農業による高収益園芸産地の育成】

4 JAみやざき宮崎中央地区本部国富支店ピーマン部会定例会が開催

19日、国富町において、生産者32名、関係機関7名が参加し開催されました。定例会では、会長挨拶後に、JAから直近のピーマンの出荷の情勢報告等について説明がありました。その後、県総合農業試験場専技センター黒木センター長に「ICMを踏まえた作後や作前の管理」について講演いただき、生産者は熱心に話を聞いてました。また、普及センターからは熱中症対策の啓発を行いました。その後の情報交換会では、生産者、関係機関で活発な意見交換が行われました。

今後ともスマート農業などにより収益があがるよう支援していきます。



【定例会】

【重4・マーケットインに基づく土地利用型営農の振興】

5 有田・柏原地区基盤整備事業推進委員会の開催

7日、有田ふれあい館で開催されました。協議では今後のスケジュールや経済効果算定結果、営農計画の検討方針について、検討しました。

今後も営農計画の検討や実証ほの設置を支援していきます。

6 跡江下小松地区の水田ゴボウ実証ほの収穫作業を実施

4日から10日にかけて、水田裏作として令和7年度から実施している実証ほの収穫を行いました。

作業は、延べ20名で茎葉除去、マルチ剥ぎ、掘り起こし作業、洗浄、選別、袋詰めを行いました。

今後は、販売実績の確認や栽培の振り返りを実施する予定です。

また、当地区は今年度も水田ゴボウを試験栽培する予定であり、今後とも支援していきます。



【洗浄作業】

7 新木地区準備委員会の開催

25日、新木地区公民館で開催されました。今回は、関係者19名で営農計画及び担い手について検討しました。

協議の結果、今年度はブロッコリー、ケールで試験栽培を実施、次年度はタマネギ、レタスで取組予定となりました。

今後は試験栽培に向けて、作業準備を進めていきます。



【基盤整備事業準備委員会】

8 本郷南方地区基盤整備事業準備委員会の開催

20日、原地区自治公民館で開催されました。今回は、関係者25名で担い手に係るアンケート結果の情報共有、水田裏作の品目の検討を実施しました。

協議の結果、水田裏作は、ダイコンを中心に、外部で既に作付けしている生産者を呼び込み取り組む案に決まりました。

今後は、外部の生産者を交えて、この案に対する意見を聴取し、方針を確定する予定です。



【基盤整備事業準備委員会】

9 新名爪地区で土地利用調整事業に係る打ち合わせを実施

21日、東蔭平公民館で開催されました。当該地区では、約27haの基盤整備事業を実施する予定としており、今回は、水田裏作で栽培する品目を関係者27名で検討しました。

協議の結果、機械化を前提として、ブロッコリー、タマネギを試験栽培することとなりました。早期水稻が終わる8月から実際に取りかかる予定です。



【打ち合わせ】

【重5・有機農業の拡大による環境保全型農業の推進】

10 綾オーガニックスクール企画運営委員会定例会の開催

28日、綾オーガニックスクールの運営主体である（合）アヤオーガニックワークスの事務所において開催され、関係者4名が出席しました。定例会では、最近の研修生の様子や農業実習、座学の進捗状況の確認、国庫事業を活用した施設整備等について協議が行われました。

普及センターでは、綾オーガニックスクールの座学で基礎的な栽培技術について講義を行っています。今後も関係機関と連携して、支援を続けていきます。

11 ばれいしょ栽培基礎講習会

13日、綾町の綾オーガニックスクールにおいて開催しました。当日は、スクール生4名を対象に、ばれいしょの流通動向や栽培管理、そうか病などの病害虫対策等について説明を行いました。

参加者からは「栽培の基礎から流通まで体系的に学ぶことができ、今後の栽培に活かしていきたい」といった意欲的な感想が寄せられました。

今後も、栽培技術の習得に向け、定期的な講習会を実施する予定です。



【ばれいしょ栽培基礎講習会】

12 かんしょ栽培基礎講習会

28日、綾町の綾オーガニックスクールにおいて開催しました。当日は、スクール生5名を対象に、かんしょの流通動向や栽培管理、基腐病などの病害虫対策等について説明を行いました。

参加者からは、「栽培の要点や病害虫対策を具体的に把握できたことで、今後の栽培に対する不安が解消され、実践への自信につながった」といった前向きな感想が寄せられました。

今後も、栽培技術の習得に向け、定期的な講習会を実施する予定です。

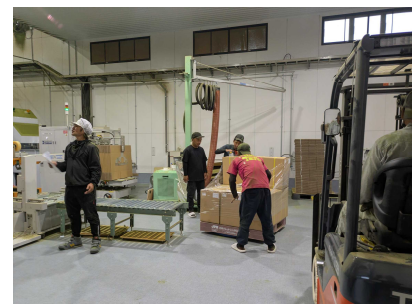


【かんしょ栽培基礎講習会】

13 新規設置碾茶工場の稼働及び支援

10日、宮崎県内で最大規模となる碾茶工場が宮崎市高岡町浦之名（一里山地区）で稼働を開始しました。普及センターでは栽培支援として、被覆を実施した茶園にて5日ごとにSPAD値を計測し、生育に応じた適切な収穫時期の判定をサポートしました。また、稼働時には工場での作業を体験し、現場の作業フローを把握しました。

稼働初年度であり、課題の抽出と早期解決に向け、今後も現地調査を重ねながら生産者の支援を行っていきます。



【碾茶工場内部で梱包中】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 JAうまいこめづくり研究部会講習会の開催

12日と26日、宮崎市内の水田で、部会員約40人に対し、中干しや穂肥施用に関する栽培講習会を行いました。普及センターからこれまでの生育調査結果や気象データをもとに、当日現地で行った幼穂確認などの生育診断結果を含め説明を行いました。組合員からは、個々の水田の地力や生育に応じた今後の管理について質問がありました。

今後も生育状況を確認しながら作柄安定に向けた支援を行っていきます。

2 飼料用稲採種生産組合への講習会の開催

28日、国富町塚原集落で、「ミナミュタカ」の種子生産を行う塚原営農組合員22人に対し、普及センターとJAや役場が連携して栽培講習会を開催しました。

基本的な栽培技術をはじめ、異品種混入防止等に向けた作業毎の点検の徹底について説明をしました。生産者からは昨年産の減収要因となった高温対策などの質問がだされました。

今後も現地指導を行いながら契約数量達成に向けて生産者の支援を行っていきます。

3 宮崎市SAP会議役員会開催

26日、宮崎市SAP会議の役員会が宮崎市役所で開催されました。役員会では6月10日に開催予定となった宮崎市SAP会議総会や、7月8～9日に鹿児島県で開催予定の九州・沖縄地区青年農業者会議について情報共有が行われました。今後も関係機関と連携して、支援を続けていきます。

